



ゴーちゃん

シロモチくん

山と田畑の境に設置された防護柵  
(撮影場所：白山町上ノ村地内)

## 津市の獣害対策は？

問い合わせ 農林水産政策課  
☎229-3172 FAX229-3168

市内の中山間地域を中心にシカやサル、イノシシなど野生鳥獣による農作物への被害が発生しています。こうした被害は、生産意欲の低下や耕作放棄地の拡大の原因になっているほか、最近では市街地にもサルやイノシシが出没し、市民に不安を与えるなど問題が深刻化しています。この野生鳥獣から農産物を守るため、現在、津市が行っている対策や取り組みについて、津市のPRキャラクターのシロモチくんとゴーちゃんが分かりやすく解説します。

**ねえねえ、シロモチくん。最近、獣害対策という言葉をよく聞くけど、どういうことが教えてほしいな。**

**うん。**市内各地では、お米や野菜、果物などさまざまな農作物が作られているんだけど、農家の皆さんが丹精込めて育てたこの農作物をシカやサル、イノシシといった野生鳥獣が食べてしまう被害のことを言うんだよ。

**農家の皆さんが一生懸命作っているものを収穫する前に食べられてしまうのは、とても問題だね。この**



**問題に対して、市ではどんな対策をしているの？**

**まず、被害を減らすために猟友会にお願いして、シカやサル、イノシシなどを捕まえてもらっているんだ。**

**ふ〜ん。でもそれだけでは被害をゼロにすることはできないよね。**

**そうだね。そこでシカやサルなどに農作物が食べられないように、田んぼや畑の周りを防護柵で囲む取り組みを始めたんだ。**

**そうなんだ。**

**防護柵は地域の皆さんが協力し合って設置してくれていて、市はその材料費を補助しているんだよ。**

**他にも地域の皆さんが活動していることってあるの？**

**シカやサル、イノシシなどが民家の近くに来ないように、地域が一体となってさまざまな取り組みを行っているんだ。**

**地域一体の取り組みって？**

**現在、市内には片田、八幡、赤坂、穴倉、桂畑、上ノ村、上稲葉、向居・山出の8つの地域で獣害の対策に取り組む協議会が設置されていて、それぞれの協議会では獣害をなくすための研修会や活動を行っているんだ。市はこの活動にも補助しているんだよ。**



昨年11月8日に片田地域で行われたドロップネット実証実験  
(津市広域獣害対策連絡協議会主催)

**効果があるといいね。**  
**うん、そうだね。それに最近では市街地での目撃も増えていて、市街地に現れたイノシシによって、怪我をしたなんてこともあったんだ。**

**それじゃあ、市街地で目撃したときはどうすればいいの？**

**この他にも、サルが頻繁に出没しているところでは、自治会が注意を促す看板を設置したり、回覧板などで注意を呼び掛けているんだ。また、猟友会の協力を得て、サルやイノシシなどを捕まえるための捕獲檻を設置しているところもあるんだよ。**

**看板や檻を設置したいときはどうすればいいの？**

**市で貸し出しをしているので、一度相談してみるのもいいね。**

**うん。獣害対策のことがよくわかったよ。ありがとう、シロモチくん。おいしい農作物が食べられなくなると困るから、この獣害について、みんなで一緒に考える必要があるね。**

**地域の皆さんも積極的に活動しているんだね。**

**これまでの取り組みで平成21年度以降、野生鳥獣による被害は少しずつ減ってきているんだけど、その被害額は平成23年度をみても4,400万円にもなるんだ。**

**そんなに被害があるんだ。**

**うん。だから被害を広げないためにも、活動を続けていくことが大切なんだよ。**

**被害をなくすために、何か新しい方法はないの？**

**獣害をこれ以上増やさないために、シカを一斉に捕獲する「ドロップネット」を設置したり、隠**



イノシシに遭遇！シロモチくん、ピンチ！

**まずは怪我をしないように身を守り、すぐに市や警察などの関係機関に連絡をしてほしいんだ。市では目撃情報が寄せられると、現場に職員が急行し、警察や関係機関と連携して、追い払いやパトロールをしているんだよ。**

**市の職員や警察官が来てくれると安心だね。**



猿除けに電流が流されている防護柵